

当院脳血管部門に脳梗塞および一過性脳虚血発作で入院された患者様、ご家族様へ

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、これまでの治療のカルテ情報から得られた研究データをまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身またはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、またはこの研究に「情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。お申し出による不利益は一切ありません。

ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データから情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

対象となる方

2012年1月～2017年12月の間に脳梗塞及び一過性脳虚血発作で入院した方

研究課題名

急性期脳卒中治療における至適ヘパリン投与量の検討

研究責任者

国立循環器病研究センター 脳神経内科 医師 田中智貴

研究の目的

急性期脳梗塞、一過性脳虚血発作の方でヘパリン静注療法を施行された患者様のデータを用いて最適なヘパリン静注療法について研究します

利用する診療情報

診断名、年齢、性別、既往歴、身体所見、血液検査、頭部画像所見、入院時採血データ（血算、肝機能検査、腎機能検査、凝固機能）、入院時治療データ（抗血栓薬の使用法）、入院中の心血管イベント、外来診療情報（予後）

研究期間

倫理委員会承認日より2025年3月31日まで（予定）

## 個人情報の取り扱い

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。

## 問合せ先

国立循環器病研究センター 脳神経内科 担当医師 田中智貴  
電話 06-6170-1070(代表)